



東京都港区浜松町二丁目3番8号  
WTC annex 7階  
株式会社LTTバイオファーマ

## News & Information

---

2026/7/10

### [PC-SOD の第Ⅲ相臨床試験プロトコルに関する論文発表のお知らせ]

当社が開発を進めるレシチン化スーパーオキシドディスムターゼ (PC-SOD) の第Ⅲ相臨床試験プロトコルに関する論文が、欧州臨床腫瘍学会 (ESMO) が発行する国際的な医学誌、*ESMO Gastrointestinal Oncology* に採択され、この度掲載されましたのでご報告いたします。

本試験は、オキサリプラチンを含む mFOLFOX6 療法を受ける大腸がん患者を対象に、前期第Ⅱ相臨床試験で示された PC-SOD による化学療法誘発性末梢神経障害 (CIPN) 予防効果を検証するものです。下記論文が国際的な医学誌に採択・掲載されたことは、本試験に対する国際医学界の関心の高さを示すものと考えております。

### 記

#### 論文タイトル

PROSPER: A phase III trial of lecithinized superoxide dismutase to prevent oxaliplatin-induced peripheral neuropathy in patients with colorectal cancer

#### 著者

K. Yamazaki, T. Kato, T. Yamada, K. Ogihara, T. Ishikawa, N. Ishizuka, T. Yoshino,  
K. Yamaguchi & T. Mizushima

#### 掲載誌

ESMO Gastrointestinal Oncology 2026年9月 オンライン版  
(*ESMO Gastrointestinal Oncology* 2026, volume 13, 100353;  
<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2949819826000531>)

「PC-SOD (LT-1001)」は、当社独自の DDS 技術を用いたバイオ医薬品であり、様々な疾患の原因の一つとされる活性酸素を消去できる画期的な新薬です。CIPN はオキサリプラチン (大腸がんなどの治療に必要不可欠な抗がん剤) による副作用の一種で、オキサリプラチン

チン投与後にしびれなどが生じ、重篤な場合には抗がん剤の投与を中止したりしびれが後遺症として一生残ったりすることになり、臨床現場で大きな問題となっています。現在、CIPNを予防する方法はありません。当社は、CIPNの発症機序に活性酸素が関与している点に着目し、動物実験でPC-SODがオキサリプラチンによるCIPNを予防することを確認しました。さらに前期第Ⅱ相臨床試験を実施し、一部評価項目において有効性が示されたことから、第Ⅲ相臨床試験を昨年8月に開始いたしました。

本開発の進捗につきましては、今後も適時お知らせいたします。

以上